

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成20年度 第5回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	平成21年2月9日(月) 午後3時00分から 午後4時00分まで
開 催 場 所	吉川市保健センター2階 集団指導室
出席委員(者)氏名	大脇 利彦委員、中村 信委員、足立 有庸委員、 戸張 英男委員、
欠席委員(者)氏名	中田 眞矢子委員、峯尾 武巳委員、矢野 義光委員
担当課職員職氏名	いきいき推進課 課長 岡田 弘好 いきいき推進課 課長補佐 箕輪 晋治 いきいき推進課介護認定係長 榎本 ノリ子 いきいき推進課介護給付係長 森 保美 いきいき推進課介護給付係 石塚 晶則 いきいき推進課高齢福祉係 小川 麻衣子
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	1. パブリックコメントの実施結果について 2. 第4期計画案(最終案)について 3. その他
非公開の理由(会議を 非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	4人
会議資料の名称	1. パブリックコメントの結果について 2. 第4期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(案) 3. 在宅復帰支援サービスについて
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	足立 有庸委員、大脇 利彦委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
司会	開会
会長あいさつ	・今回が最終審議。パブリックコメントの結果も含めて審議をお願いしたい。
事務局	(資料確認) ・資料は、①次第、②パブリックコメントの結果について、③第4期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(案)、④「在宅復帰支援サービス」について。
議事 中村会長	・議事の前に足立委員、大脇委員を議事録証明委員に指名する。
(1)パブリックコメントの結果について	(1)パブリックコメントの結果について (事務局説明)
中村会長	パブリックコメントで集まった意見に対する、市からの返答はどうするのか。
事務局	ホームページにて示す予定。
大脇委員	「説明がわかりにくい」とあるが、そういった人たちに説明の場を設ける考えはあるのか。
事務局	製本して配布する際に、何かあれば担当課へ問い合わせさせていただきようお伝えする。
中村会長	どのくらいの市民がこうした計画策定のことを知っているのか。
事務局	今回のパブリックコメントは、市のホームページと広報1月号でお知らせしているが、何人がそれを見ているかは把握できない。
中村会長	パブリックコメントの結果について了承してよいか。
全員	良い。
(2)第4期計画案(最終案)について	(2)第4期計画案(最終案)について (事務局説明)
中村会長	前回との違いがわかるように点線部と実線部があるが、本印刷では

	外すのか。
事務局	そのとおり。
足立委員	修正したものは大変見やすくなったと感じる。用語解説に「老人福祉センター」を加えてはどうか。
事務局	確認する。
大脇委員	「介護相談員派遣の促進」で今後、居宅サービスについても派遣対象に加えると書かれているが、実際には難しいのではないか。
事務局	確かに居宅サービス利用者に対する派遣は難しいが、グループホーム等への派遣も含めて徐々に拡大していきたい。具体的な詰めは先で行う。「要請に応じて」と入れているので、その辺りを解釈願いたい。
中村会長	計画素案はこれで良いか。
全員	良い。
(3) その他	(3) その他 (事務局、在宅復帰支援サービスについて説明)
中村会長	サービスは1回あたり何日程度のものか。
事務局	1週間程度。
中村会長	過去に利用した人は、その後、在宅復帰できたのか。
事務局	平成18年度に利用した人は、一時的に居宅生活を送ったが、その後また施設入所となった。平成15年度に利用した人は、試しに利用しただけで施設を退所することはなかった。
大脇委員	この2件のケースで、保険料の影響はどの程度か。
事務局	利用する通所介護サービスなどの居宅サービス分が保険料に影響を及ぼす。例えば1万円かかったとすると、国や県の負担がないので、自己負担分の1,000円を除いた9,000円をまるまる第1号被保険者の保険料で賄うこととなる。ただし、65歳以上の方全員で負担するので、利用が少なければ保険料の影響も少ない。
中村会長	利用が少ない。継続が必要かどうか。一方、保険料への影響も少ないため、残しておくこともできるが。
事務局	両面を踏まえてご審議いただきたい。

大脇委員	現状では施設入所者は重度化が進んでいるため、在宅復帰は現実的には困難である。このサービスは必要ないのではないか。
中村会長	打ち切ることとする。 (事務局、夜間対応型訪問介護について説明) ※市内医療機関より夜間対応型訪問介護の事業実施に関して打診があった。市としても計画値を見込んでいるため、この方向で進めていきたい。その承認を得たい。具体的になれば再度詳細をお示しし、ご説明したい。
中村会長	サービス提供開始予定はいつ。
事務局	計画上は平成21年度からの利用分を見込んでいる。
中村会長	どのくらいの利用規模を想定しているのか。
事務局	70人くらいを想定しているらしい。この方向で進めて良いか。
全員	良い。
中村会長	(事務局：介護保険料の算出と介護従事者処遇改善特例交付金の取り扱いについて説明) 質問もないようなので、これで議題を終了する。
その他	(事務局から委員としての協力のお礼と今後の予定について説明)
閉会	

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成21年 3月30日

署名委員 足立 有庸

署名委員 大脇 利彦